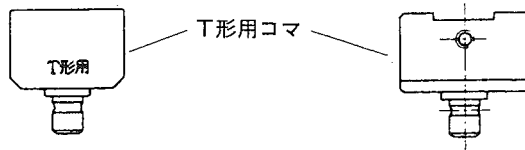


T 形 用 コ マ

■ 各部の名称



■ 仕 様

圧 縮 能 力 T-11 ~ T-122

ダ イ ス 15号Bと共用

■ T形コネクタと電線及びダイスの組み合わせ

T形コネクタとダイスの組み合わせ

ダ イ ス	T形コネクタ	適用電線範囲(断面積の合計)mm ²	圧縮回数
T-11	T-11	7.5 ~ 11	1
T-16	T-16	11.5 ~ 6	1
T-20	T-20	14 ~ 20	1
T-26	T-26	21 ~ 26	1
T-44	T-44	27 ~ 44	1
T-60	T-60	45 ~ 60	2
T-76	T-76	61 ~ 76	2
T-98	T-98	77 ~ 98	2
T-122	T-122	99 ~ 122	2

T形コネクタと電線の組み合わせ

本線mm ²	分岐線mm ²							
	2 (φ1.6)	3.5 (φ2.0)	5.5 (φ2.6)	8	14	22	38	60
5.5 (φ2.6)	T-11							
8	T-16		T-16,20					
14	T-16,20		T-20		T-26			
22	T-26			T-44				
38	T-60				T-76			
60	T-76					T-98		T-122
100	T-122							

注) 記入の数値T-□は、適用ダイスおよび適用コネクタの名称を示す。

■ 使用方法

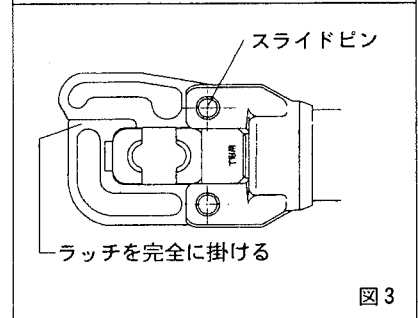
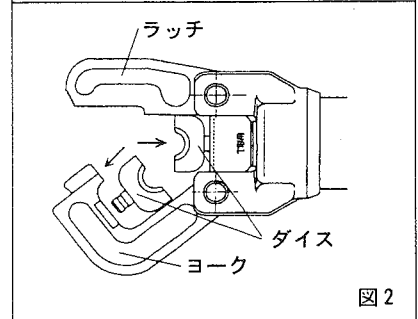
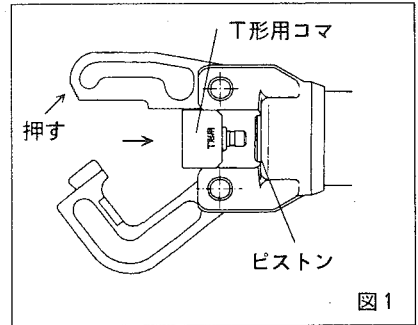
1. 圧縮する本線と分岐線の断面積の合計により、適合ダイスを選定します。

例：本線が60mm²で分岐線が38mm²の場合は面積の合計が98mm²になりますからダイス及びT形コネクタはT-98を選定します。

2. ラッチを外し、ヨークを開きます。
ラッチは図示箇所を押すと開きます。〔図1〕
3. T形用コマをピストンに装着します。〔図1〕
4. ダイスをヨークとT形用コマに装着します。
〔図2〕

ヘッド部は、180°回転しますので作業に適した位置にセットしてください。

5. 本線をラッチとヨークの間に入れヨークを元の位置に戻し、ラッチを完全に掛けます。〔図3〕
6. 本線にT形コネクタを開口部より挿入しT形コネクタをダイス間に入れ、作動スイッチを押し軽く固定（仮押え）します。
7. T形コネクタの開口部に分岐線を挿入します。
8. 作動スイッチを操作して圧縮します。
ダイス間が密着して、「カチン」と報知音を発生し、圧力規制装置が作動し、圧縮はこれで完了です。
9. リリーススイッチを押しピストンを下死点まで下げます。
10. 以上の操作を規定回数行います。



■ 注意事項

1. T形コネクタと電線及びダイスの組み合わせは、誤りのないようにしてください。間違った組み合わせは、接続不良及び工具の故障の原因となりますので注意してください。
2. カラ押し操作はしないでください。
3. ヘッド部を人に向けるような使用方法は絶対にしないでください。